Pioneer sound.vision.soul

DVD プレーヤー

DV-696AV







DVD ビデオのリージョン番号

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVDビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョン No. は「2」です。

再生できる DVD ビデオディスクのリージョン表示の例: 2 ALL 1 2 4 など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ



※DVDレコーダーでビデオモード記録したDVD-R/-RWディスクを本機で再生するときは、ファイナライズ (録画終了処理) してください。

インターネットによる登録のお願い

http://www.pioneer.co.jp/support

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

RW COMPATIBLE

取扱説明書

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置



- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置



- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  →あおむけや横倒し、逆さまにする。
  →押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  →じゅうたんやふとんの上に置く。
  →テーブルクロスなどをかける。



- 着脱式の電源コード(インレットタイプ)が付属している場合のご注意：

  付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境



- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 表示された電源電圧(交流100ボルト50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法



- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。



- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置



- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



● 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)



● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



● 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。



● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法



● ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。



● レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



● お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。



● 旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池



● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



● 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(＋)マイナス(—)の向き)に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



● 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。



● 電池は加熱したり分解したり、火や水の中にいれないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検



● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。



● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

目次

準備する

再生できるディスクの種類

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

DVD	市販DVDビデオ（DVD VIDEO） DVDオーディオ（DVD AUDIO） DVD-R（DVD R） DVD-RW（DVD RW）
CD	ビデオCD（COMPACT disc DIGITAL VIDEO） SACD（SUPER AUDIO CD） CD（COMPACT disc DIGITAL AUDIO） CD-R（COMPACT disc Recordable） CD-RW（COMPACT disc ReWritable）
フジカラーCD	FUJICOLOR CD COMPATIBLE　FUJICOLOR CD COMPATIBLE　：このマークは、富士写真フイルム(株)の商標です。
コダックピクチャーCD	

DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

コピーコントロールCDについて

当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類

DVD-ROM、DVD-RAM、CD-G、リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオなど

DVDレコーダーなどで記録したディスクについて

- DVDビデオモードまたはVRモードで記録されたDVD-R/RW/R DLを再生することができます。
- DVDビデオモードで記録されたDVD+R/RW/R DLを再生することができます。

■ 本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

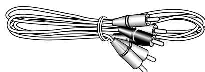
DVD ビデオ	DVDビデオ	市販のDVDビデオ、またはビデオモードで記録されたDVD-R/RW/R DL及びDVD+R/RW/R DL
DVD オーディオ	DVDオーディオ	市販のDVDオーディオ
DVD VR	DVD VR	VRモードで記録されたDVD-R/RW/R DL
ビデオ CD	ビデオCD	ビデオCD
SACD	SACD	市販のSACD (スーパーオーディオCD)
CD (R-RW)	CD(R/RW)	市販の音楽用CD、またはCDDAフォーマットで音楽が記録されたCD-R/RW
WMA MP3	WMA/MP3	WMAまたはMP3ファイルが記録されたCD-R/RW/ROM
JPEG	JPEG	JPEGファイルが記録されたCD-R/RW/ROM
DivX®	DivX®	DivXビデオファイルが記録されたCD-R/RW/ROM

付属品の確認

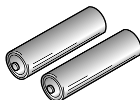
リモコン



オーディオ・ビデオコード



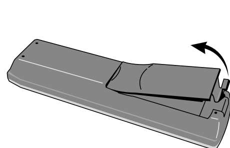
単3形乾電池(R6P・2本)



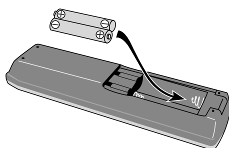
- 保証書
- 取扱説明書(本書)

リモコンに電池を入れる

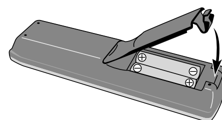
① 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く。



② ケース内に表記されている極性 ⊕ (プラス)/⊖ (マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる。



③ フタを矢印の方向に閉める。

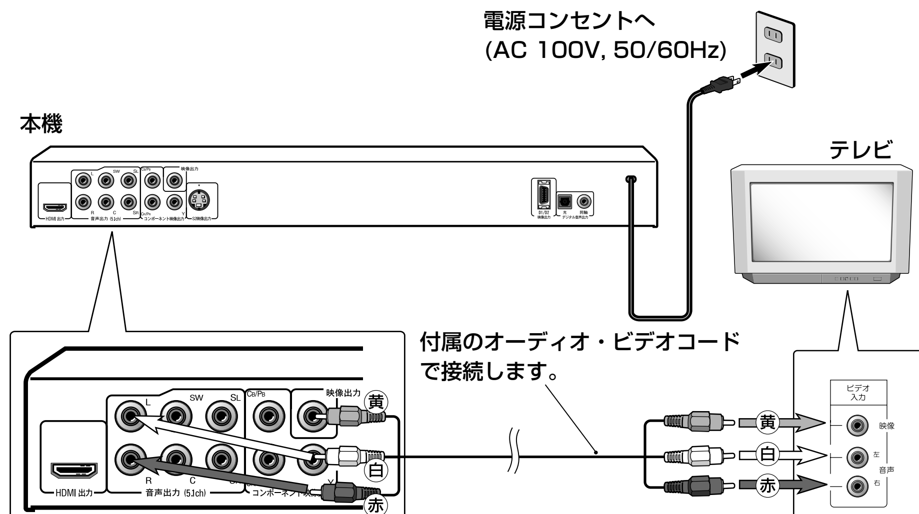


☑ 注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1カ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。
- 警告:電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下する事があります。

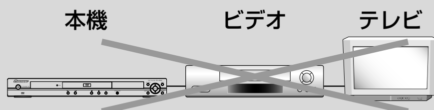
テレビに接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。



☑ 注意

- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、ビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。



Q&A

Q1: 5.1 チャンネルサラウンドサウンドを楽しみたい！どんな接続をしたらいいですか？

→ **P.30, 31** をご覧ください。

Q2: S 映像端子、コンポーネント映像端子、D 映像端子、モノラル音声入力端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.32-33** をご覧ください。

Q3: HDMI 端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.34** をご覧ください。

設定画面の操作のしかた

本機では、いろいろな場面でテレビに表示される設定画面を使用します。



1 リモコンの ⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンで項目を移動する

2 決定ボタンで項目を決定する

よく使うボタン

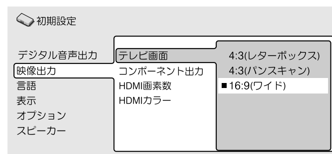
	ホームメニュー画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面を終了する(**設定は保存されません**)。
	項目を選択 / 変更する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

テレビの種類を選ぶ

ワイドテレビ (16:9) をお使いの場合、テレビ画面のタイプの設定をしてください。
従来の画面タイプのテレビ (4:3) をお使いの場合は、この設定をせずにお使いいただけます。
詳しくは **P.39** をご覧ください。







1 リモコンのホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 ⬇ボタンで[初期設定]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬇ ボタンで[映像出力]を選択する

4 ➡ ボタンで[テレビ画面]を選択する

5 ➡/⬇ボタンで[16:9(ワイド)]を選択して、決定ボタンを押す

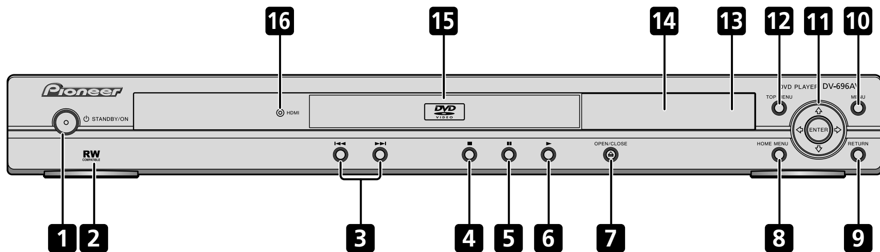
6 ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了させる

☑ メモ

- 本機の操作(本体、またはリモコンで)を約5分間行わないとテレビ画面にスクリーンセーバーが表示されます。

各部のなまえ

本体前面



1 ⏻ **STANDBY/ON** — 電源を入れる/切る**(P.13, 14)**。

2 **RW** COMPATIBLE — DVD VR が再生できる機能を示しています。

3 ⏮/⏭ — チャプター/トラックを頭出しする**(P.17)**。

4 ■ — ディスクを停止する**(P.13, 14)**。

5 ⏸ — 映像/音声を再生中に押すと、映像/音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る**(P.13)**。

6 ► — ディスクを再生する**(P.13)**。

7 **OPEN/CLOSE** ⏏ — ディスクテーブルを開閉する**(P.13)**。スタンバイ状態では電源が入り、ディスクテーブルが開く。

8 **HOME MENU** — ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする**(P.19, 22, 23)**。

9 **RETURN** — 初期設定画面やメニュー画面などが表示されているときに押すと、1つ前の項目目に戻る。

10 **MENU** — DVDビデオ では、ディスクメニューを表示する。DVD VR ビデオCD WMA/MP3 JPEG DivX® では、ディスクナビゲーターを表示する**(P.14, 22, 23)**。
＊一部のコンテンツではディスクメニューを表示します。

11 ⬆ ⬇ ⬅ ➡ — 項目を選択/変更する。

ENTER — 設定/選択した項目を実行する。

12 **TOP MENU** — DVDビデオ DVDオーディオ の最上層のメニュー画面を表示する。

13 **リモコン受光部** — 約7 m以内の距離から、ここにリモコンを向けて操作する。

14 **表示窓(P.11)**

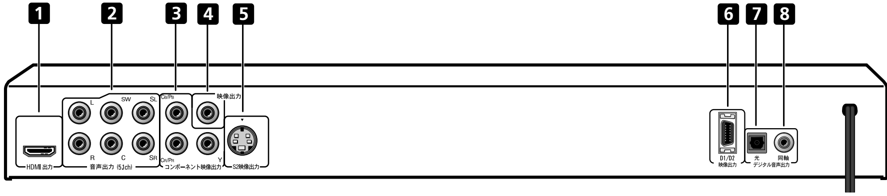
15 **ディスクテーブル(P.13)**

16 **HDMI** — HDMI端子に接続した機器を認識しているときに点灯する。

☑ メモ

- 本機を蛍光灯の近くに設置するとリモコンの操作を受けづらくなることがあります。このようなときは、蛍光灯から離れた場所に設置してください。

本体後面



1　HDMI出力端子(**P.34**)

2　音声出力(5.1ch)端子(**P.31**)

3　コンポーネント(Y、CB/PB、CR/PR)映像出力端子(**P.33**)

4　映像出力端子(**P.8, 30, 31**)

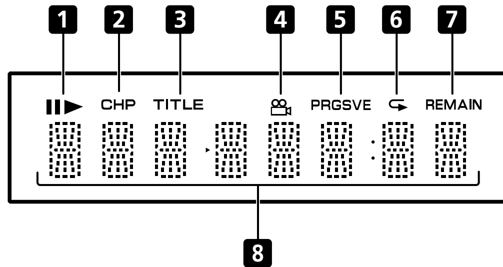
5　S2映像出力端子(**P.33**)

6　D1/D2映像出力端子(**P.33**)

7　光デジタル音声出力端子(**P.30, 32**)

8　同軸デジタル音声出力端子(**P.32**)

表示窓



1　ディスクを一時停止または再生しているときに点灯

2　チャプター番号が表示されているときに点灯

3　タイトル番号が表示されているときに点灯

4　アングルを変更できる場面で点灯(DVDビデオのみ)(**P.24**)

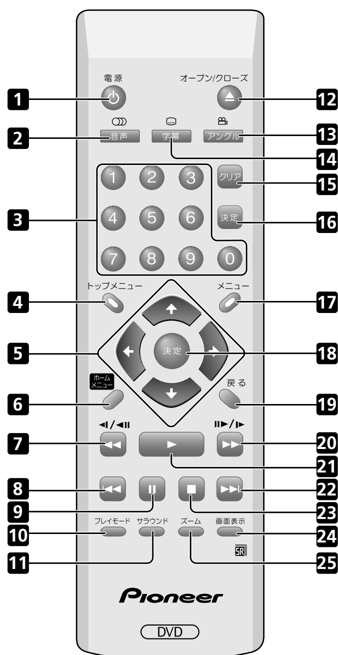
5　映像出力方式でプログレッシブが選択されているときに点灯(**P.40**)

6　リピート再生中に点灯

7　タイトル/チャプター/トラックの残り再生時間が表示されているときに点灯

8　いろいろな情報を表示する

リモコン



1 ⏻ **電源** — 電源を入れる/切る(**P.13, 14**)。

2 ◯◯ **音声** — DVDビデオの音声言語、2重音声で記録された DVD VR 、または DVDオーディオ ビデオCD CD(R/RW) DivX® の音声を切り換える(**P.26**)。

3 **数字** — 見たい/聞きたいタイトル/チャプター/トラックを指定して再生したいとき、またはメニュー画面で項目を選択するときなどに使う。**数字ボタン**で選択して**決定ボタン**を押す(**P.17**)。

4 **トップメニュー** — DVDビデオ DVDオーディオの最上層のメニュー画面を表示する。

5 ⬆ ⬇ ⬅ ➡— 項目を選択/変更する。

6 **ホームメニュー** — ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。

7 ◀◀ /◀I/◀II — 再生中、映像や音声の早戻しをする。一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生、押し続けると逆方向にスロー再生をする(**P.16, 17**) 。

8 I◀◀ — 現在再生中のチャプター/トラックの始めに戻る(**P.17**)。

9 II — 映像/音声を再生中に押すと、映像/音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る(**P.13**)。

10 **プレイモード** — プレイモード画面を表示する(**P.18-21**)。ホームメニューボタンを押して、ホームメニューからプレイモード画面を選択することもできます。

11 **サラウンド** — バーチャルサラウンド(立体音場)機能をオン/オフにする(**P.27-28**)。

12 ▲ **オープン/クローズ** — ディスクテーブルを開閉する(**P.13**)。

13 🎥**アングル** — DVDビデオのアングルを切り換える(**P.24**)。

14 (....) **字幕** — 字幕言語を切り換える(**P.26**)。

15 **クリア** — プログラム再生で設定した内容を取り消す。

16 **決定** — 設定/選択した項目を実行する。

17 **メニュー** — DVDビデオでは、ディスクメニューを表示する。DVD VR ビデオCD WMA/MP3 JPEG DivX® では、ディスクナビゲーターを表示する(**P.14, 22, 23**)。
*一部のコンテンツではディスクメニューを表示します。

18 **決定** — **16** と同じ。

19 **戻る** — 初期設定画面やメニュー画面などが表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻る。

20 ▶▶ /II▶/I▶ — 再生中、映像や音声の早送りをする。一時停止中に押すとコマ送り再生、押し続けるとスロー再生をする(**P.16, 17**)。

21 ▶ — ディスクを再生する(**P.13**)。スタンバイ状態では電源が入り、ディスクを再生する。

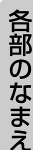
22 ▶▶I — 次のチャプター/トラックの始めに送る(**P.17**)。

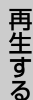
23 ■ — ディスクを停止する(**P.13, 14**)。

24 **画面表示** — ディスクの情報を表示する(**P.25**)。

25 **ズーム** — 映像を拡大する(**P.24**)。

再生する





ディスクを再生する

あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力を切り換えておいてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

印刷面を上にして
ディスクをセットする

2 ▲

1 ⏻STANDBY/ON

1 ⏻電源を入れる

2 ▲ディスクテーブル
を開閉する

3 ▶再生する

❚❚一時停止する

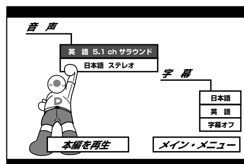
■停止する

☑ メモ

- ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。
- **「▶ 再生する」「❚❚ 一時停止する」「■ 停止する」**の操作については、本体でもリモコンと同じように操作することができます。

■ メニュー画面が表示されたら

再生を始めると最初にメニュー画面 (ディスクメニュー) を表示するディスクがあります。ディスクメニューの内容や操作方法はディスクによって異なります。ビデオCDのメニュー画面の操作方法については **P.25** をご覧ください。



1 リモコンの ⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンまたは数字ボタンで選択して、決定ボタンを押す。

☑ メモ

- 画面の上下に黒い帯がつく DVD があります。本機の故障ではありません。

■ 止めたところから再生する (リジューム再生)

■**ボタン**を押してディスクを停止するとその場所を記憶するので、次回は続きから再生を開始します(リジューム機能)。また、ディスクを取り出してもDVD5 枚、ビデオ CD1 枚分の停止した場所を記憶しています(ラストメモリー機能)。次回、そのディスクを入れると、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。停止中に ■ **ボタン**をもう一回押すと、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除され、次に再生するときはディスクの最初から開始します。

☑ メモ

- DVDオーディオ SACD では、リジューム機能が働きません。また、DVD VR DVDオーディオ SACD CD(R/RW) では、ラストメモリー機能が働きません。
- ラストメモリー機能では、別のディスクを記憶すると前のディスクのメモリーが消去されます。
- ラストメモリーを記憶させたくない場合は、■ **ボタン**を押さずに ⏏ **ボタン**でディスクを停止して、取り出してください。

■ 電源を切る

電源を切る前にディスクを取り出しましょう。



1 本体の⏻STANDBY/ONボタンまたはリモコンの ⏻ 電源ボタンを押す

☑ メモ

- 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の[-OFF-]表示が消えていることを確認してください。[-OFF-]表示中に抜くと本機の設定が工場出荷時の状態に戻ることがあります。

Q&A

Q1: 映像が映らない！

→ オーディオ・ビデオコードが正しく接続されていますか？(**P.8, 30-34**)
→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。
→ プログレッシブ対応していないテレビに接続しているときに**[プログレッシブ]**を選択していませんか？(表示窓(**P.11**)の**[PRGSVE]** が赤く点灯していませんか？)。本体の⏮**ボタン**を押しながら⏻**STANDBY/ONボタン**を押して、**[インターレース]**に切り換えてください(**P.40**)。
→ HDMI出力端子から映像が出力されない場合は、HDMIケーブルが正しく接続されているか、「HDMIケーブルのつなぎかた」(**P.34**)を参照して確認してください。

Q2: リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約7mの範囲内で操作することができます。
→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
→ 本機を蛍光灯の近くに設置していませんか？蛍光灯から離れた場所に設置してください。(**P.10**)

Q3: ディスクテーブルを閉めても出てきてしまったり、再生ができない

→ ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていますか？
→ ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。
→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「2」と「ALL」のみです(**P.58, 61**)。
→ 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください(**P.63**)。

Q4: ビデオCD CD(R/RW)が再生できない。

→ パソコンで作成されたビデオCD CD(R/RW)は再生できないことがあります。

Q5: WMA/MP3が再生できない。

→ DRMコピープロテクト＊のかかったWMAファイルを再生している。
→ 記録したディスクがISO9660フォーマットに準拠していない。
→ サンプリング周波数が32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されていないWMAファイルを再生している。
→ 可変ビットレート(VBR)またはロスレスエンコーディングのWMAファイルを再生している。
→ サンプリング周波数が32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されていないMP3ファイルを再生している。

Q6: JPEGが再生できない。

→ 記録したディスクがISO9660フォーマットに準拠していない。
→ 総ピクセル数が3072X2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイルではない。
→ プログレッシブJPEGファイルは再生できません。

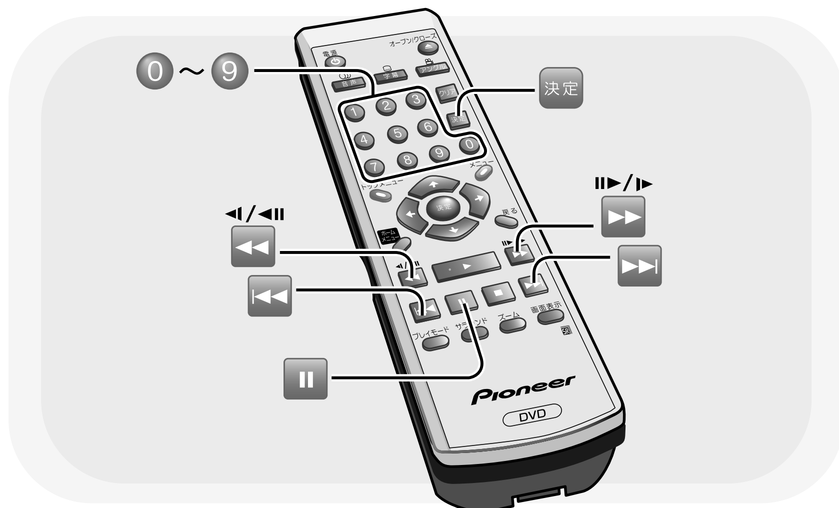
Q7: DivX®が再生できない。

→ DivX®ビデオの再生以外には対応していません。お手持ちのメディアのエンコード方式等をご確認ください。

Q8: 電源が自動的に切れてしまう

→ ディスクを再生していないときに約30分間、本体またはリモコンの操作を行わないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります(**オートパワーオフ機能**)。

＊ DRM (Digital Rights Management) コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限する機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。



早送り / 早戻し再生 DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R-RW) WMA MP3 DivX®

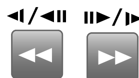


1 再生中にリモコンの ▶▶(または ◀◀)ボタンを押す

- ボタンを押すごとに速さを４段階まで切り換えることができます（DivX®では速さを切り換えることはできません）。
- 通常の再生に戻すには ▶ **ボタン**を押します。

コマ送り / コマ戻し再生 DVDビデオ DVD VR ビデオCD DivX®



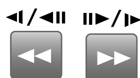


1 再生中に II ボタンを押して一時停止させ、II▶/I▶(または ◀I/◀II)ボタンを押す

- コマ送り / コマ戻し再生は音声が出力されません。
- 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- コマ戻し再生中、映像が揺れることがあります。
- コマ送り / コマ戻し再生ができないディスクがあります。
- ビデオCD DivX®は、コマ戻し再生ができません。
- 通常の再生に戻すには ▶ **ボタン**を押します。

スロー再生 DVDビデオ DVD VR ビデオCD DivX®





1 再生中に II ボタンを押して一時停止させ、II▶/I▶（または ◀I/◀II）ボタンを押し続ける

- 画面にスローの表示がでたら、手を離してもスロー再生を続けます。
- スロー再生中、ボタンを押すごとに速さを４段階まで切り換えることができます。
- スロー再生は音声が出力されません。
- スロー再生ができないディスクがあります。
- ビデオCD DivX®は、逆方向のスロー再生ができません。
- 通常の再生に戻すには ▶ **ボタン**を押します。

頭出し(スキップ) DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R-RW) WMA MP3 JPEG DivX®



1 再生中に ▶▶I（または I◀◀）ボタンを押す

- 押した数だけチャプター/トラックをスキップします。
- ビデオCDのPBC再生中(**P.25**)は、ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

ダイレクトサーチ DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R-RW)

0 ～ 9

決定

1 数字ボタンでタイトル / チャプター / グループ / トラック番号を入力して、決定ボタンを押す

再生中にできるダイレクトサーチの種類

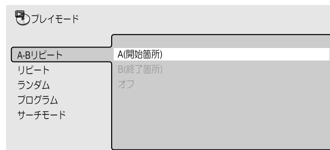
DVDビデオ	DVD VR	DVDオーディオ ビデオCD SACD CD(R/RW)
チャプターサーチ	タイトルサーチ	トラックサーチ

- **決定ボタン**を押さなくても、２秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- DVDビデオのチャプターサーチでは、再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。
- ダイレクトサーチができないディスクがあります。
- ディスク停止中にダイレクトサーチを行うと、DVDビデオは**タイトルサーチ**に、DVDオーディオは**グループサーチ**になります。

いろいろな機能を使う

指定した部分を繰り返し再生する (A-Bリピート)

DVDビデオ　DVD VR　ビデオCD　CD (R-RW)



1 **再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[A-B リピート]を選択する**

2 **[A(開始箇所)]を選択して、開始したい箇所で決定ボタンを押す**

3 **[B(終了箇所)]を選択して、終了したい箇所で決定ボタンを押す**

A-B リピート再生を開始します。

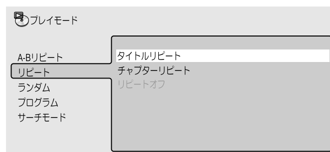
➡ **解除するときは、[オフ]を選択する**

☑ メモ

- ビデオCDのPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.25**)。
- 異なるタイトルをまたいで A-B リピート再生をすることはできません。
- A-B リピート再生ができないディスクがあります。

繰り返し再生する(リピート)

DVDビデオ　DVDオーディオ　DVD VR　ビデオCD　SACD　CD (R-RW)　DivX®



1 **再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[リピート]を選択する**

2 **リピート再生の種類を選び、決定ボタンを押す**

リピート再生を開始します。

- **タイトルリピート**
- **チャプターリピート**
- **グループリピート**
- **ディスクリピート**
- **トラックリピート**
- **プログラムリピート**

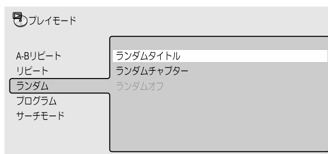
＊ リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

➡ **解除するときは、[リピートオフ]を選択する**

☑ メモ

- ビデオCDのPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.25**)。
- ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。
- リピート再生ができないディスクがあります。

順不同に再生する (ランダム) DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SACD CD(R-RW)



1 **再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[ランダム]を選択する**

2 **ランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押す**

次のタイトルなどからランダム再生を開始します。

- **ランダムタイトル**
- **ランダムチャプター**
  再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- **ランダムグループ**
- **ランダムトラック**
  再生中のグループ内のトラックを順不同に再生します。
- **ランダムオール (ランダムオン)**
  ディスク内のトラックを順不同に再生します。

＊ ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

➡ **解除するときは、[ランダムオフ]を選択する**

☑ メモ

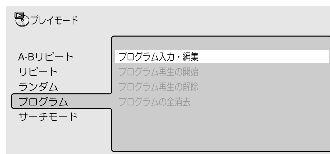
- ビデオCDのPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.25**)。
- ディスクを停止するか、**ランダムオフ**を選択するまで、ランダム再生を続けます。
- ランダム再生ができないディスクがあります。
- ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ランダム再生中に▶▶I **ボタン**を押すと、順不同に次のタイトル等を選択して再生します。また、I◀◀ **ボタン**を押すと、現在再生中のタイトル等の始めに戻り再生します。
- 現在再生中のタイトル等より前のタイトル等に戻ることはできません。
- 毎回ランダムに選択するため、同じタイトル等を何度も再生する場合があります。

■ プレイモード画面について

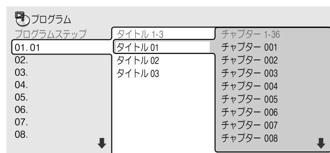


- **ホームメニューボタン**を押して、ホームメニュー画面から[**プレイモード**]を選択して表示することもできます。
- ビデオCDのPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.25**)。

好みの順に再生する（プログラム） DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SACD CD(R-RW)







＊ ディスクによってプログラム入力、編集画面が異なります。

1 プレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[プログラム]を選択する

2 [プログラム入力・編集]を選択して、決定ボタンを押す

3 プログラムしたいタイトル / チャプター / グループ / トラックを選択して、決定ボタンを押す

プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。

4 3を繰り返して、他のタイトルなどを入力する

➡ ステップの間にプログラムを追加する

① プログラムステップの追加したい箇所にカーソルを合わせる。

② 追加するタイトル等を選択して**決定ボタン**を押す。

- 追加した箇所にあったタイトル等は、新しいプログラムの後ろに移動します。

➡ 入力中にプログラムを削除する

① 削除したいプログラムステップにカーソルを合わせる。

② **クリアボタン**を押す。

- プログラムが削除され、その後ろにあったタイトル等が 1 つ前に繰り上がります。

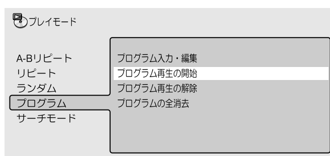
5 ▶ ボタンを押す

プログラムした順に再生を開始します。

☑ メモ

- ビデオCDのPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.25**)。
- 一時停止をプログラムすることはできません。
- タイトル等が変わるときに、プログラムしていないタイトル等の映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択します(**P.18**)。
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。
- プログラム再生中に**▶▶|ボタン**を押すと、次のプログラムステップのタイトル等を再生します。

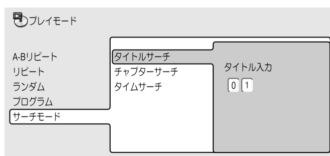
■ プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去する



- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します。

見たい場面を探す (サーチモード)





1 再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[サーチモード]を選択する

2 サーチモードの種類を選び、決定ボタンを押す

- **タイトルサーチ**
- **チャプターサーチ**
- **グループサーチ**
- **トラックサーチ**
- **タイムサーチ** (ビデオCD CD(R/RW)では、再生中のトラック内の時間を、DVDビデオ DivX®では再生中のタイトル内の時間を指定して再生します。)

＊ サーチモードの種類は、再生しているディスクによって異なります。

3 数字(0～9)ボタンで再生したいタイトル / チャプター / グループ / トラックまたは時間を入力して、決定ボタンを押す

指定したタイトル等から再生を開始します。

➡ タイムサーチを選択したとき

- 21分43秒を再生するには、**2, 1, 4, 3**を押して、**決定ボタン**を押します。
- 1時間4分(64分00秒)を再生するには、**6, 4, 0, 0**を押して、**決定ボタン**を押します。

☑ メモ

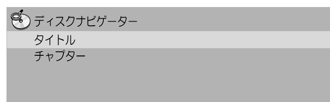
- DVDオーディオには、静止画が収録されているディスクがあります(**P.61**)。静止画の種類によって、静止画の番号(ページ)を指定してサーチすることができます。
- ビデオCDのPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.25**)。
- DVDビデオでは、ディスクメニューで見たい場面を探す(サーチする)ことができるディスクがあります。このときは、リモコンの**メニューボタン**でディスクメニューを表示させてサーチしてください(**P.12**)。
- DVDオーディオ SACDでは、タイムサーチができません。
- DivX®では、タイムサーチのみ選択することができます。

ディスクナビゲーターを使って再生する



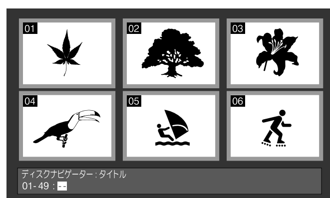






＊ ディスクによって表示内容が異なります。





1 再生中にホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬆ ⬇ ボタンで種類を選択する

DVDビデオ	DVD VR	ビデオCD
タイトル チャプター	オリジナル: タイトル オリジナル: 時間 プレイリスト: タイトル プレイリスト: 時間	トラック 時間

- **[時間]**を選択すると、10分おきの画像を表示します。

4 先頭の画面が6枚ずつ表示されるので、再生したいタイトルなどを探す

- **▶▶I ボタン**を押すと、次の6枚に切り換わります(**I◀◀ ボタン**で戻ります)。
- **ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。
- **戻るボタン**を押すと、ディスクナビゲーターの種類を選択する画面に戻ります。

5 数字ボタンで番号を入力して決定ボタンを押す

- 番号にカーソルを合わせて**決定ボタン**を押しても再生することができます。

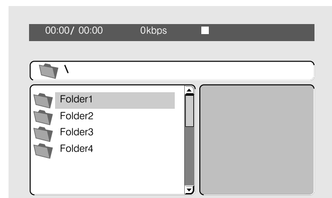
☑ メモ

- ビデオCDのPBC再生中はディスクナビゲーター画面を表示することができません。PBC再生を解除してください(**P.25**)。
- DVD レコーダーで録画して作られたタイトルを**[オリジナル]**、オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを**[プレイリスト]**といいます。
- プレイリストが作成されていないときは、**[プレイリスト]**は選択できません。
- 一部のDVDビデオでは、ディスクナビゲーターが使用できない場合があります。

WMA MP3　JPEG　DivX®

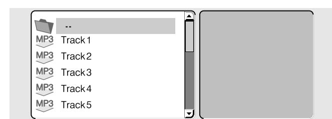




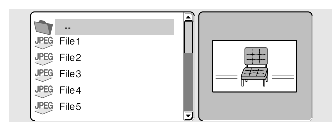




＊ WMA/MP3の場合



＊ JPEGの場合



1 ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬆ ⬇ ボタンでフォルダーを選択して、決定ボタンを押す

- 半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー/トラック/ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

4 ⬆ ⬇ ボタンで再生したいトラック / ファイルを選択する

- JPEGでファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。
- ⬅ **ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

5 決定ボタンを押す

- 選択したトラック / ファイルから再生を開始します。
- JPEGでは、画像が次々に表示されます(スライドショー)。
- スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
- **ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。

☑ メモ

- WMA/MP3 JPEG **DivX®**では、ディスク情報の読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。
- ‥ を選択して**決定ボタン**を押しても、上の階層に戻すことができます。
- ディスクナビゲーターを使うと、フォルダーごとの再生となります。フォルダーをまたいで再生したいときは、ディスクをセットしたあとに ▶ **ボタン**を押して再生を開始してください。
- JPEG と WMA/MP3 が混在するディスクを再生する場合、先に WMA（または MP3）を選択してから JPEG ファイルを選択すると、JPEG ファイルと WMA（または MP3）を同時に再生することができます。ただしこの場合は、フォルダーごとの再生となります。

  フォルダーをまたいで同時再生したいときは、ディスクをセットしたあとに ▶ **ボタン**を押して再生を開始してください。

アングルを切り換える DVDビデオ

複数のアングルが収録されているDVDビデオでは、再生中にアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。詳しくは **P.58, 61** をご覧ください。



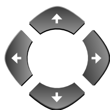
1 アングルボタンを押す

- 現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

☑ メモ

- 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします(**P.43**)。
- マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- ディスクメニューでアングルを切り換えることができるディスクもあります(**P.14**)。

画像を回転 / 反転する JPEG



1 ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンを押す

➡ ― 押すたびに画像が時計回りに 90° 回転します。
⬅ ― 押すたびに画像が反時計回りに 90° 回転します。
⬆ ― 画像の上下が反転します。
⬇ ― 画像の左右が反転します。

☑ メモ

- 通常のスライドショーに戻すには ▶ **ボタン**を押します。

画像を拡大する DVDビデオ DVD VR ビデオCD JPEG DivX®



1 ズームボタンを押す

- ズームエリア(拡大する場所)が表示されます(JPEG を除く)。⬆ ⬇ ⬅ ➡ **ボタン**でズームエリアを移動することができます。
- 押すたびに、2 倍 →4 倍 → 通常と変化します。

☑ メモ

- JPEGでは、▶ **ボタン**を押してスライドショーに戻すこともできます。

ディスクの情報を見る



画面表示



1 再生中に画面表示ボタンを押す

- ディスクの経過時間や残量などを表示します。

例）

再生	►	DVDビデオ		チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声	1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕	2. 日本語	アングル 1

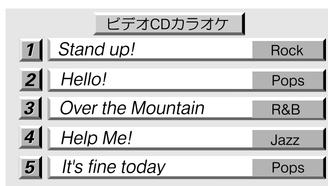
- ディスクによっては、**画面表示ボタン**を押すごとに表示内容が切り換わります。
- **画面表示ボタン**を数回押すと、表示がオフになります。

☑ メモ

- ビデオCDのPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください（**下記参照**）。

メニュー画面から再生する（PBC再生） ビデオCD

ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。



＊ ディスクによって表示内容が異なります。

1 PBC再生対応ディスクを入れ、► ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 数字(0～9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定ボタンを押す

再生を開始します。

- 再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

➡ メニュー画面のページをめくる、または戻すには

- メニュー画面を表示中に**►►|**、または**|◄◄ボタン**を押す。

➡ メニュー画面を出さずに再生するには（PBC再生を解除して再生する）

下記のいずれかの方法で再生してください。

- **停止中**に、**数字(0～9)ボタン**で再生するトラックを選択して、**決定ボタン**を押す。
- **停止中**に、**►►|** または **|◄◄ ボタン**を押す。

音声を切り換える DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD CD(R-RW) DivX®



1 再生中に音声ボタンを押す

- 押すたびに音声が切り換わります。

例）

音声	現在/総数 1/3	英語	Dolby Digital 3/2.1CH
音声	現在/総数 2/3	日本語	Dolby Digital 3/2.1CH
音声	現在/総数 3/3	英語	Dolby Digital 2/0CH

＊ 3/2.1CH はディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは **P.62** をご覧ください。

- 2カ国語で記録された DVD VR では、主、副、主/副音声が切り換わります。
- ビデオCD CD(R/RW) では、ステレオ、左、右が切り換わります。
- DVDオーディオ の再生中に**音声ボタン**で音声を切り換えると、そのトラックの始めから再生を行います。

☑ **メモ**

- DVDビデオ によっては**音声ボタン**で音声を切り換えられない場合があります。DVD のメニュー画面で切り換えてください(**P.14**)。
- ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- ここで切り換えた音声の設定は、リジューム機能(**P.14**)を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定画面の設定(**P.42**)に戻ります。

字幕を切り換える DVDビデオ



1 再生中に字幕ボタンを押す

- 押すたびに字幕言語が切り換わります。

例）

字幕	現在/総数 1/2	日本語
字幕	現在/総数 2/2	英語
字幕	オフ	

＊ 字幕が収録されていないときは[-/-]が表示されます。

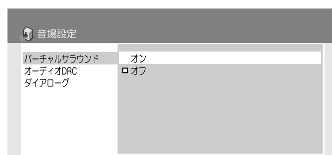
☑ **メモ**

- DVDビデオ によっては**字幕ボタン**で字幕言語を切り換えられない場合があります。DVDのメニュー画面で切り換えてください(**P.14**)。
- ここで切り換えた字幕言語の設定は、リジューム機能(**P.14**)を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定画面の設定(**P.42**)に戻ります。

音場を設定する







1 ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [音場設定]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する

4 ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了させる

- 新しく設定した内容が保存されます。

バーチャルサラウンド

2つのスピーカーで臨場感のある立体音場を再現することができます。

- **オン、オフ** (出荷時の設定)

オーディオ DRC

オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。たとえば、深夜に映画を見るようなときに変更します。オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。

- **大、中、小、オフ** (出荷時の設定)

ダイアローグ

映画などを DVD で見るとき、記録されたフォーマットによっては台詞の音が小さくて聴き取りづらい場合があります。このようなときに変更します。

- **大、中、小、オフ** (出荷時の設定)

☑ メモ

- すべての効果を同時に設定することができます。
- **[バーチャルサラウンド]**を設定時は、96kHz以上のリニアPCM音声は48kHzに変換されて出力されます。
- **[バーチャルサラウンド]**、**[ダイアローグ]**はデジタル音声出力にも効果があります。ただし、デジタル音声出力がドルビーデジタル、DTS、またはMPEG音声で出力されているときは効果がありません(デジタル音声出力の設定については **P.35-38** をご覧ください)。
- **[バーチャルサラウンド]**は、リモコンの**サラウンドボタン**を押して、**[オン]**または**[オフ]**を選択することもできます。
- **[バーチャルサラウンド]**、**[オーディオ DRC]**の効果が少ないディスクもあります。
- **[バーチャルサラウンド]**は DVDオーディオ SACD には効果がありません。
- **[オーディオDRC]**はデジタル音声出力端子(光/同軸)から出力される音声にも効果があります。ただし、**[デジタル音声出力]**の**[デジタル出力]**を**[オン]**に設定して、さらに**[DD Digital出力]**を**[DD Digital > PCM]**に設定してください(**P.35**)。
- **[オーディオDRC]**の効果は、お使いのスピーカーやテレビ、またはAVアンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定を選択してください。

画質を調整する

画質を調整してより見やすくする





項目によって設定画面が異なります。

例 1



例 2



＊ **戻るボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

1 ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [画質調整]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する

4 ホームメニューボタンを押して､設定画面を終了させる

- 新しく設定した内容が保存されます。

シャープネス

画像の鮮明度を調整します。

- **ファイン**、**標準** (出荷時の設定)、**ソフト**

ブライトネス

画面の明るさを調整します。

- **－20～＋20** (出荷時の設定：**0**)

コントラスト

最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。

- **－16～＋16** (出荷時の設定：**0**)

ガンマ

画像の暗い部分の見えかたを強調します。

- **大**、**中**、**小**、**オフ** (出荷時の設定)

色あい

緑色と赤色のバランスを調整します。

- **緑 9～赤 9** (出荷時の設定：**0**)

色の濃さ

色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

- **－9～＋9** (出荷時の設定：**0**)

BNR

映像のブロックノイズを軽減します。

- **オン**、**オフ** (出荷時の設定)

☑ メモ

- ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。

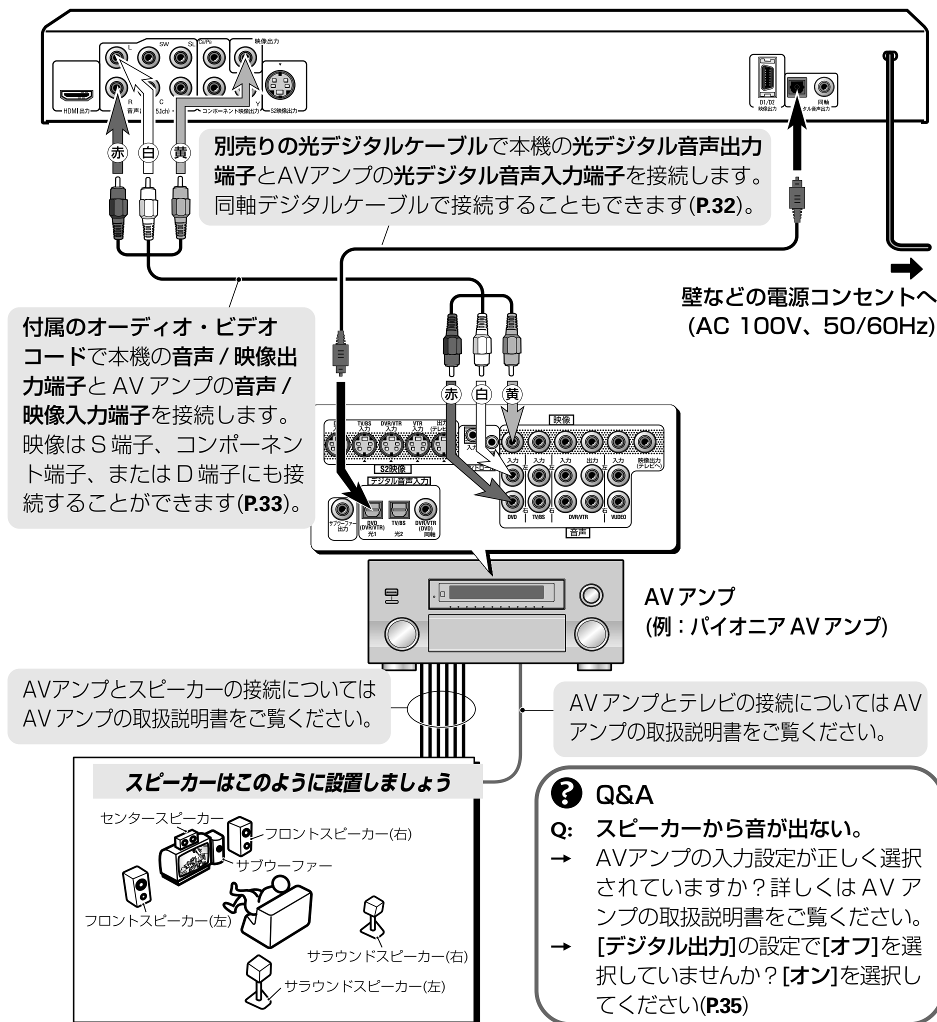
他機器との接続

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

5.1 チャンネルサラウンドシステムの接続

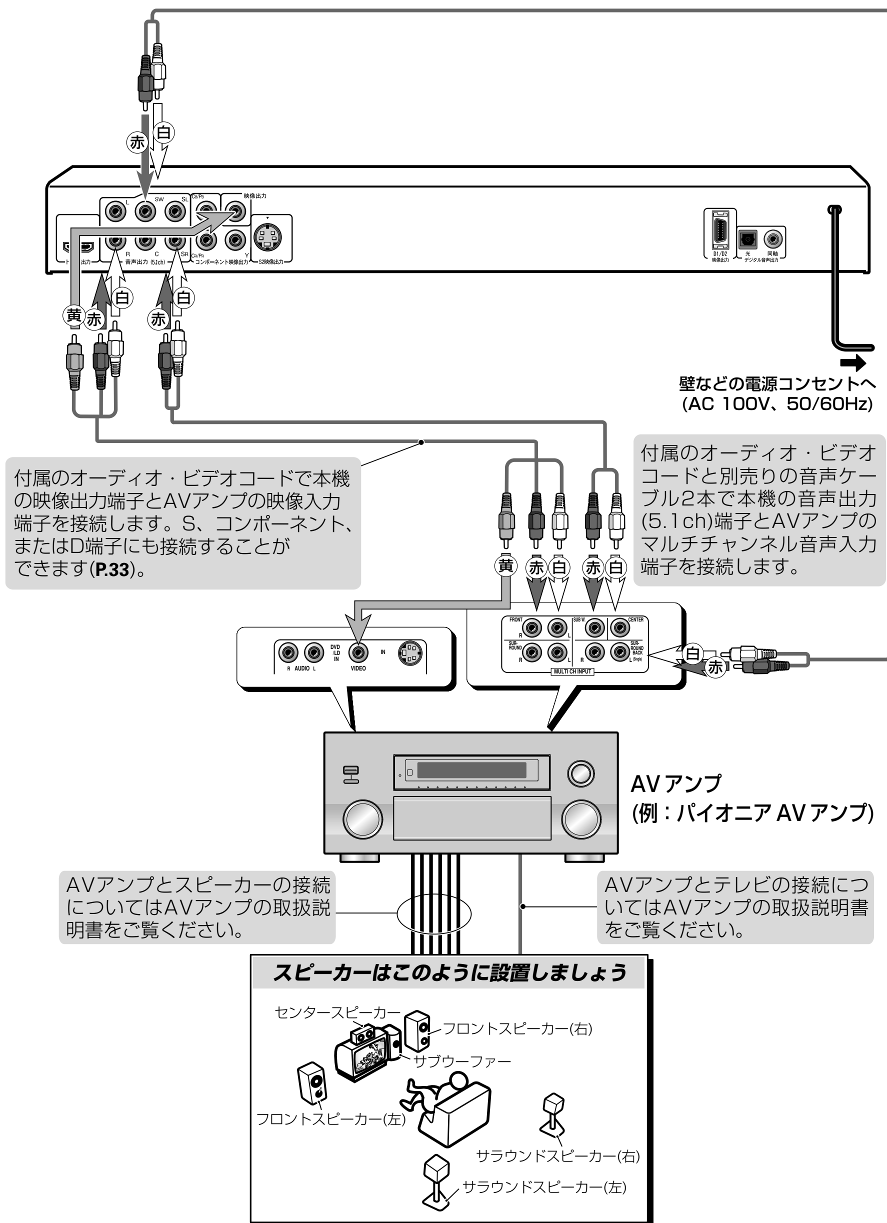
▼ 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむために必要な機器は？
- ドルビーデジタル /DTS などのデジタル入力に対応した AV アンプ、またはデコーダー
- 5ch スピーカー(フロント左右 / センター / サラウンド左右)＋サブウーファー
- 光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブル
- DTS5.1ch サラウンドを楽しむときは、**[DTS 出力]**の設定で**[DTS]**を選択してください(**P.36**)。

■ DVD ビデオの 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむための接続



■ DVDオーディオやSACDの5.1chサラウンドサウンドを楽しむための接続（5.1chアナログ音声出力端子に接続して5.1chサラウンドを楽しむ）

5.1chアナログ音声出力端子を接続するときは、付属の音声ケーブル(1本)と別売りの音声ケーブル(2本)が必要です。また、**[音声出力モード]**(**P.46**)の設定で**[5.1チャンネル]**を選択してください。



音声ケーブルのつなぎかた

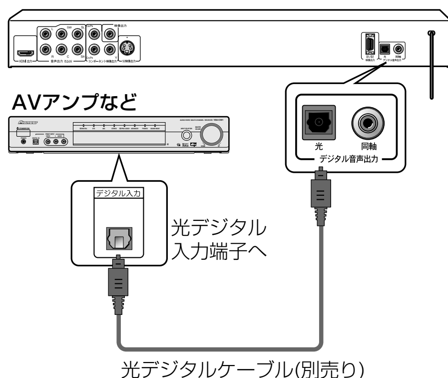
■ デジタル音声入力端子のある機器との接続

デジタル音声入力端子のあるAVアンプやデジタル録音対応機器(MD、CD-R(CDレコーダー)、DATなど)とデジタル接続することができます。光デジタル端子と同軸デジタル端子に接続する2つの方法があります。

- 光出力端子に接続するときは、光キャップを抜いてから、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してしまいます。
  また光キャップは大切に保管し、光出力端子に何も接続しないときは、光キャップを差し込んだ状態で本機を使用してください。

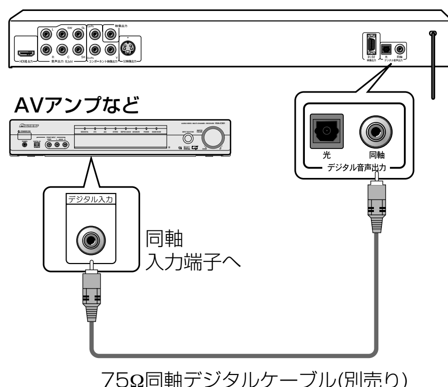
光デジタル音声入力端子のある機器と接続する

別売りの光デジタルケーブルで接続します。



同軸デジタル音声入力端子のある機器と接続する

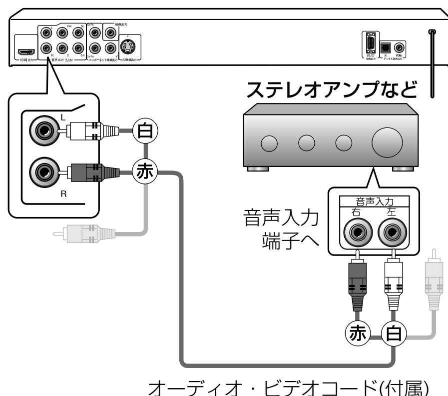
別売りの同軸デジタルケーブルで接続します。



■ 2chアナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のある機器との接続

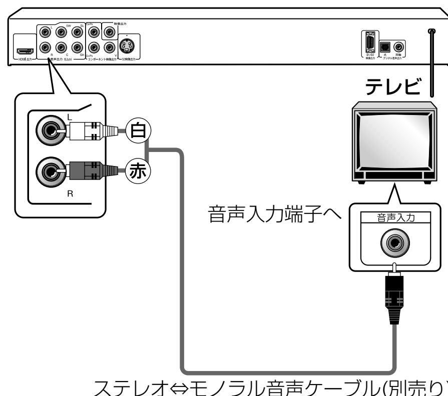
2chアナログ音声入力端子と接続する

付属のオーディオ・ビデオコードで接続します。



モノラル音声入力端子のあるテレビと接続する

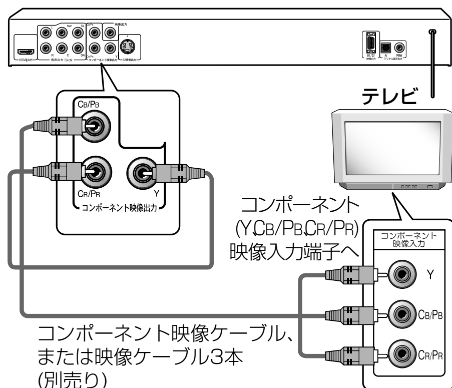
別売りのステレオ⇔モノラル音声ケーブルで接続します。



映像ケーブルのつなぎかた

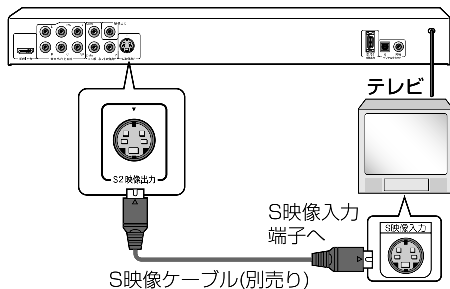
コンポーネント(Y, CB/PB, CR/PR) 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りのコンポーネント映像ケーブルで接続します。本機の優れた映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。



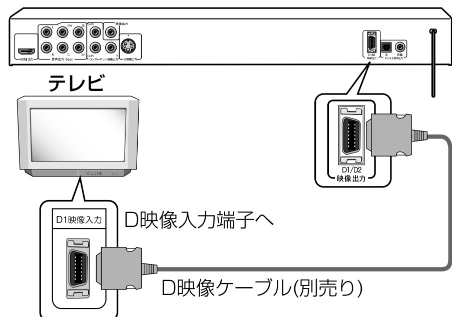
S映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りのS映像ケーブルで接続します。付属の映像ケーブルを使った接続より、高い映像品質を楽しむことができます。本機はS2出力に対応しています。



D映像入力端子のあるテレビと接続する

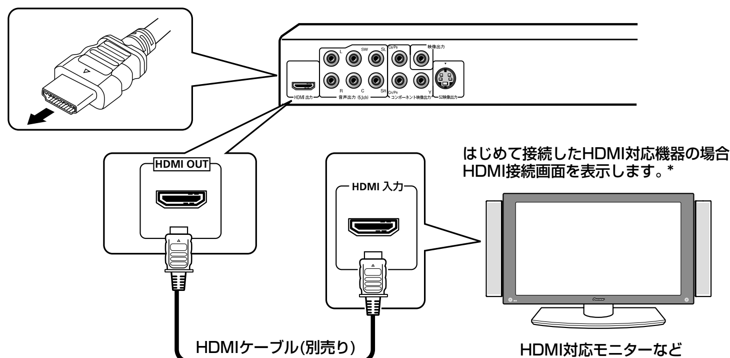
別売りのD映像ケーブルで接続します。専用ケーブル1本で、コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同様の優れた映像品質を楽しむことができます。本機のD1/D2端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。ただし、D1入力端子と接続したときは、インターレース出力のみとなります。



HDMI ケーブルのつなぎかた

HDMI 入力端子のある機器と接続する

別売りのHDMIケーブルで接続します。非圧縮のデジタル映像とデジタルオーディオ音声を一本のケーブルで接続することができます。デジタルで伝達するため、劣化のない高品質な映像と音声を楽しむことができます。



* 本機は接続したHDMI 機器の性能によらず、手動で出力内容を設定します。詳細は「HDMI画素数」の設定(**P.41**)を参照してください。また本機で記憶できるHDMI 機器の設定は２台までです。

☑ メモ

- HDMI 対応機器と接続すると表示部に「※※※※」と解像度が表示されます。

HDMI 対応機器への出力仕様

■ 映像（解像度）

- 720 × 480 ピクセルのプログレッシブ / インターレース映像
- 1280 × 720 ピクセルのプログレッシブ映像
- 1920 × 1080 ピクセルのインターレース映像

☑ メモ

- お手持ちの受像機(HDMI機器)が上記画素に対応していないと正しく映らない場合があります。
- 本機は HDMI 機器との接続を目的として設計されています。DVI 機器に接続した場合、DVI 機器によっては正常に動作しない場合があります。
- 本機の HDMI インターフェースは以下の規格に基づいて設計されています。
  High-Definition Multimedia Interface Specification



■ 音声

本機が HDMI 接続で伝送できるオーディオ信号は、最大 44.1 kHz ～ 192 kHz、16 bit/20 bit/24 bit の 2ch リニア PCM 音声 (2ch ダウンミックスを含む) か 、44.1 kHz ～ 96 kHz、16 bit/20 bit/24 bit、5.1ch リニア PCM 音声または 5.1ch ビットストリーム(ドルビーデジタル、DTS、MPEG)信号です。

設定をする

初期設定を変更する



1 **ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる**

2 **[初期設定]を選択して、決定ボタンを押す**
ディスクの再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3 **⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する**

☑ メモ

- **[HDMI 出力]**、**[HDMI 画素数]**、**[HDMI カラー]** の設定項目は、本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルで接続した場合のみ、設定が必要です。
- **[デジタル音声出力]**、**[コンポーネント出力]**、**[スピーカー]** の設定項目は、本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルで接続した場合は設定できません。

デジタル音声出力

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
デジタル出力 光デジタル音声出力からの出力を設定します。	●**オン**：音声を出力するとき。 ○**オフ**：音声を出力しないとき。 • SACD はデジタル出力しません。DVDオーディオ はマルチチャンネル音声をダウンミックスしてデジタル出力されます。この場合、デジタル出力できないディスクもあります。
DD Digital 出力 デジタル出力している AV アンプがドルビーデジタル音声に対応していないときに、[DD Digital ＞ PCM]を選択します。	●**DD Digital**：ドルビーデジタル音声のまま出力したいとき。 ○ **DD Digital ＞ PCM**：ドルビーデジタル信号をリニア PCM 信号に変換して出力したいとき。

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
DTS 出力 デジタル出力しているAVアンプがDTS音声に対応していないときに、[**DTS＞PCM**]を選択します。	● **DTS：**DTS信号を出力したいとき。 ○ **DTS＞PCM：**DTS信号をリニアPCM信号に変換して出力したいとき。DTSに対応していないアンプと接続するときに選択します。 • DTSに対応していないアンプに接続しているときに[**DTS**]を選択すると、ノイズが発生することがあります。 • [**DTS>PCM**]に設定する場合、DTSマルチチャンネルのダウンミックス方法を選択することができます。
リニアPCM出力 96kHz対応アンプまたはデコーダーと接続したときに、[**ダウンサンプル オフ**]を選択します。	●**ダウンサンプル オン：**96kHzに対応していないアンプと接続したとき。各系統の音声周波数を48/44.1kHzにダウンサンプリングして出力します。 ○**ダウンサンプル オフ：**96kHz対応アンプまたはデコーダーと接続したとき。 • DVDオーディオの192/176.4kHzサンプリング音声のとき、[**ダウンサンプル オフ**]を選択していてもデジタル出力は強制的に96/88.2kHzにダウンサンプルされます。また、著作権保護されている場合は、自動的に48/44.1kHzに変換されます(96/88.2kHzリニアPCM音声を含む)。このようなDVDは高音質のアナログ音声出力でお楽しみください。
MPEG出力 デジタル出力しているAVアンプがMPEG音声に対応しているときに、[**MPEG**]を選択します。	○ **MPEG：**MPEG音声を出力したいとき。 ●**MPEG＞PCM：**MPEG音声信号をリニアPCM信号に変換して出力したいとき。

設定項目	設定内容

HDMI 出力

接続した HDMI 機器への音声出力を変更する。

音声の種類		HDMI設定(オーディオ) 自動	LPCM(2CH)	LPCM(5.1CH)
DVD	LPCM (DVD-RWを含む)	左/右	左/右	左/右
DVD	MPEG (DVD-RWを含む)	MPEG *2	左/右	5.1ch *4
DVD	ドルビーデジタル カラオケ	ドルビーデジタル *2	左/右	5.1ch *4
DVD	ドルビーデジタル (DVD-RWを含む)	ドルビーデジタル *2	2chダウンミックス	5.1ch *4
DVD	DTS	DTS *2	2chダウンミックス	5.1ch *4
DVDオーディオ (CPPMあり) *1		5.1ch	左/右 または 2chダウンミックス *3	5.1ch *4
DVDオーディオ (CPPMなし)		5.1ch	左/右 または 2chダウンミックス *3	5.1ch *4
CD	CD/MP3/WMA	左/右	左/右	左/右
CD	Video CD	左/右	左/右	左/右
CD	DTS CD	DTS *2	左/右	5.1ch *4

	SACD再生 2chエリア	マルチchエリア	CDエリア
SACD	× *5	× *5	左/右 *6

○**自動：**接続した機器の音声入力設定がドルビーデジタル、DTS、MPEG の場合はビットストリームのまま出力し、LPCM の場合はそのまま出力されます。接続先がビットストリームを受けられない場合、PCM に変換して出力します。

● **LPCM(2CH)：**接続した HDMI 機器がステレオ入力のみ受けられる場合に選択します。マルチチャンネル音声は LPCM 2ch にダウンミックスして出力されます。

○ **LPCM(5.1CH)：**接続した HDMI 機器が LPCM マルチチャンネルに対応している場合に選択します。すべての音声信号が LPCM 5.1ch で出力されます。（すべてのストリームを本機でデコードしたい場合は、この設定を選択してください。）

○**Off：**接続したHDMI機器から音声を出力しないときに選択します。（このときはデジタル音声出力やスピーカーの設定が有効になります）

*1 CPPM のかかった DVD オーディオディスク再生時の HDMI 音声出力の詳細については次ページをご覧ください。

*2 接続した機器がドルビーデジタル、DTS、MPEG などのビットストリームに非対応の場合、本機は自動的に LPCM 出力に切り換えます。

*3 ダウンミックス禁止の素材の場合は、フロント 2ch のみ出力します。

*4 接続した HDMI 機器がマルチチャンネルに非対応の場合は、LPCM(2CH) と同じ設定で出力されます。

*5 SACD では出力されません。

*6 CD 層のあるディスクのみ適用されます 。

- 表の▒の部分は音声が出力されません。

DVD オーディオの HDMI 出力

DVD オーディオの音声は、最大でサンプリング周波数 192 kHz/24 bit/2ch、または、サンプリング周波数96 kHz/24 bit/6chまでのコンテンツが記録されているディスクがありますが、接続した機器の性能によって、出力される音声は変化します。

著作権保護（CPPM）がかけられている DVD オーディオの HDMI 出力例

			コンテンツのフォーマット	
	接続機器の種別 *1	製品例	2ch素材	5.1ch素材
接続機器	HDMI DVDオーディオ対応 *2 5.1ch対応	VSA-AX4AVi VSA-AX2AV	2ch出力	5.1ch出力 *3
	HDMI DVDオーディオ対応 *2 2ch対応	PDP-506HD	2ch出力	フロント2chまたは ダウンミックス2ch出力 *4
	HDMI DVDオーディオ非対応 *2	PDP-505HDL/HDS PDP-435SX	音声出ず *5	音声出ず *5

*1 HDMIの入出力を持つ機器において、その出力側の機器(ディスプレイ等)で音声出力する設定を選んでいる場合は、そちらの機器の種別を指します。

*2 接続機器がDVDオーディオの音声やマルチチャンネルに対応しているかを確認して音声の出力状態を決定します。接続機器がDVDオーディオに対応していない場合、CPPM入りのDVDオーディオの音声はHDMI出力しません。

*3 ［**HDMI 出力**］の設定（**P.37**）を［**LPCM(2CH)**］に設定すると、2ch にダウンミックスして出力します。ただしダウンミックス禁止の素材の場合は、フロント 2ch のみ出力します。
出力画素数を 480i、480p に設定時、接続機器性能によっては 2ch で出力する場合があります。

*4 ダウンミックス禁止の素材の場合は、フロント 2ch のみ出力します。

*5 フロント表示窓に『CPPM』と表示してHDMI端子から音声を出力できないことを知らせます。著作権保護がかかっていないディスクは 2ch 出力します。

相手機器の対応 fs（サンプリング周波数）による DVD オーディオ出力例

接続機器の対応 最大サンプリング周波数		コンテンツのオーディオフォーマット		
		44.1 kHz/48 kHz	88.2 kHz/96 kHz	176.4 kHz/192 kHz
接続機器	48 kfs	44.1 kHz/48 kHz	44.1 kHz/48 kHz *1	44.1 kHz/48 kHz *1
	96 kfs	44.1 kHz/48 kHz	88.2 kHz/96 kHz	44.1 kHz/48 kHz *1
	192 kfs	44.1 kHz/48 kHz	88.2 kHz/96 kHz	176.4 kHz/192 kHz

*1 対応するサンプリング周波数にダウンサンプルして出力します。

映像出力

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
テレビ画面 お使いのテレビに合わせてテレビ画面の縦横比を設定します。 接続したHDMI機器についても有効です。	●**4:3(レターボックス)**：従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をレターボックス方式(画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を再現する方式)で見たいとき。 ○**4:3(パンスキャン)**：従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をパンスキャン方式(16:9の映像の左右をカットして4:3の画面全体に映し出す方式)で見たいとき。 ○**16:9(ワイド)**：ワイドテレビと接続したとき。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像　4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像　4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像　4:3の映像		

＊画面の比率(アスペクト比)の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

設定をする

●：工場出荷時の設定

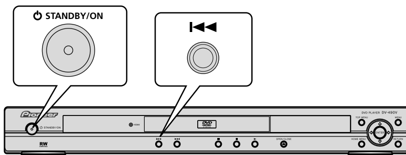
設定項目	設定内容
コンポーネント出力 コンポーネント映像出力端子、またはD1/D2映像出力端子に出力される映像をインターレースかプログレッシブに設定します。	○**プログレッシブ：**プログレッシブ映像信号に対応しているテレビまたはプロジェクターのとき。 ●**インターレース：**プログレッシブ映像信号に対応していないテレビまたはプロジェクターのとき。 ➡ **[プログレッシブ]**を選択して決定を押すと確認の画面が出ます。変更を行う場合は、決定ボタンを押してください。変更しない場合は、その他のボタンを押してください。 • **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を切り換えるとき、映像が乱れることがあります。

☑ 注意

- プログレッシブ入力に対応していないテレビとコンポーネント映像/D映像接続(**P.33**)しているときは、**[プログレッシブ]**を選択しないでください。正常な映像が出力されません。
- HDMI 接続時に HDMI 画素数を 480p、720p、1080i に設定していると、コンポーネント出力は強制的に**[プログレッシブ]**設定になります。

  またHDMI画素数を480i に設定していると、コンポーネント出力は強制的に「**インターレース**」になります。

＊ **誤って[プログレッシブ]を選択してしまったときは、下記の方法で[インターレース]に切り換えてください。**



1 本機を待機（スタンバイ）状態にする

電源が入っているときは、本体の⏻**STANDBY/ONボタン**(またはリモコンの⏻**電源ボタン**)を押します。

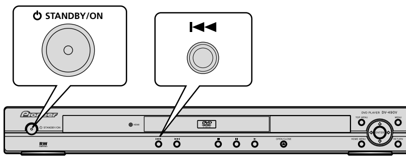
2 ⏮ ボタンを押しながら ⏻STANDBY/ON ボタンを押す

[インターレース]に切り換わり、映像が出力されます。

- **本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について**

  現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は当社のカスタマーサポートセンターへお問い合わせください(裏表紙)。

設定項目	設定内容
HDMI 画素数 接続した HDMI 機器への映像解像度(画素数)を変更する。	• 720 × 480 ピクセルのプログレッシブ映像 • 720 × 480 ピクセルのインターレース映像 • 1280 × 720 ピクセルのプログレッシブ映像 • 1920 × 1080 ピクセルのインターレース映像 から選ぶことができます。 画素数を切り換えて決定すると確認メッセージの画面が表示されますので、[はい]を選択してください。 画素切り換え後テレビに正しく画面が出ない場合は、下記の操作を行って、画素数の設定を[720 × 480P]に戻してください。 **1 本機を待機（スタンバイ）状態にする** 電源が入っているときは、本体の⏻STANDBY /ON ボタン(またはリモコンの⏻電源ボタン)を押します。 **2 ⏮ ボタンを押しながら ⏻STANDBY/ON ボタンを押す** ● 画素切り換え時は映像が乱れたり、出力に時間がかかる場合があります。
HDMI カラー 接続した HDMI 機器へのカラー出力の設定を変更する。	**フルレンジ RGB:** より明るい白や深い黒を再現できます。画面の色再現が弱いときに設定します。 **RGB:** フルレンジRGBを設定したとき、白飛びや黒潰れが発生し色濃度が強すぎる場合に設定します。 **色差:** HDMI 機器の標準設定となるコンポーネントビデオ出力フォーマットにしたいとき設定します。



言語

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
音声言語 DVD ビデオの音声言語を変更します。	●**日本語：**日本語にするとき。 ○**英　語：**英語にするとき。 ○**その他の言語：➡P.50** • ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。 • ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。
字幕言語 DVD ビデオの字幕言語を変更します。	●**日本語：**日本語にするとき。 ○**英　語：**英語にするとき。 ○**その他の言語：➡P.50** • ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。 • ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。
DVD メニュー言語 DVDビデオのディスクメニューに表示する言語を変更します。	●**字幕言語に連動：[字幕言語]**で選択されている言語でメニュー画面を表示するとき。 ○**日本語：**日本語でメニュー画面を表示するとき。 ○**英　語：**英語でメニュー画面を表示するとき。 ○**その他の言語：➡P.50**
字幕表示 DVD ビデオの字幕を表示する / しないを設定します。	●**オン：**字幕を表示するとき。 ○**オフ：**字幕を表示しないとき。ただし、DVD ビデオの中には強制的に字幕を表示するディスクもあります。

表示

●：工場出荷時の設定

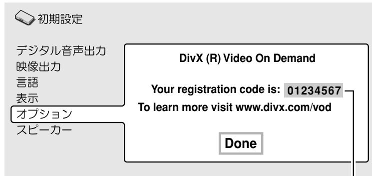
設定項目	設定内容
画面表示言語 テレビ画面の操作表示言語を設定します。	●**日本語**：操作表示言語を日本語にするとき。 ○ **English**：操作表示言語を英語にするとき。
アングルマーク表示 アングルマーク(🎥)を表示する / しないを設定します。	●**オン**：テレビ画面に 🎥 マークを表示するとき。 ○**オフ**：テレビ画面に 🎥 マークを表示しないとき。

オプション

設定項目	設定内容
視聴制限 暴力シーンなどを含むDVDビデオには、視聴制限のレベルを設けたものがあります(ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。	**◆暗証番号** **◆レベル変更** **◆国 / 地域コード** ➡ **暗証番号を登録するには** ① **[暗証番号]を選んで決定ボタンを押す** ② **数字(0～9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押す** ● 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。 ● 暗証番号を忘れてしまったときは、本機を初期化して(**P.63**)、再度設定してください。 ● ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。 ● 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。 ➡ **暗証番号を変更するには** ① **[暗証番号変更]を選んで決定ボタンを押す** ② **数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押す** ③ **数字(0～9)ボタンで新しい暗証番号を入力して、決定ボタンを押す**

設定項目	設定内容
視聴制限	➡ レベルを変更するには ① [レベル変更]を選んで決定ボタンを押す ② 数字(0～9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押す ③ ⬅➡ ボタンでレベルを変更して、決定ボタンを押す ➡国/地域コードを変更するには 国/地域コード表(P.50)を見ながら操作してください。 ① [国 / 地域コード]を選んで決定ボタンを押す ② 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押す ③ ⬆⬇ ボタンで選び、決定ボタンを押す • 国/地域コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。
DVD 再生方式 DVDビデオとDVDオーディオが 1 枚に収録されているディスクを再生するとき、どちらを再生するかを設定します。	● DVD オーディオ：DVDオーディオ (オーディオゾーン) を再生するとき。 ○ DVD ビデオ：DVDビデオ (ビデオゾーン) を再生するとき。 • [DVD ビデオ] を選択していても、本体の ⏏OPEN/CLOSE ボタンを押したり、電源を切ると、[DVD オーディオ]に戻ります。
SACD 再生 SACDは、2 チャンネルと 5.1 チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドSACDはSACD層とCD層の2層構造になっています。ここではSACDの再生するエリアを切り換えます。	● 2ch エリア：2ch エリアを再生するとき。 ○マルチchエリア：マルチchエリアを再生するとき。 ○ CD エリア：CD 層を再生するとき。
DTS ダウンミックス DTS ダウンミックスの設定をします。	● STEREO：DTS のダウンミックス方法をステレオダウンミックスに設定するとき。通常のステレオ音声でお楽しみいただけます。 ○Lt/Rt：DTSのダウンミックス方法をサラウンドダウンミックスに設定するとき。ドルビーサラウンドマトリックスと互換性のある音声です。サラウンド対応のアンプなどに接続する事でサラウンド音声をお楽しみいただけます。

設定項目	設定内容
DivX VOD DivX VOD ファイルを本機で再生する場合、そのDivX VOD ファイルの配信先に対して本機の登録コードが必要な場合があります。その場合は、Displayで確認した登録コードをお使いください。	● Display ➡ DivX VOD 登録コードを確認するには ① [DivX VOD]を選択し、⇨ボタンを押します。 ② [Display]を選択して決定ボタンを押します。



登録コード

- DivX VOD ファイルはDRM コピープロテクションがかかっており、登録されたプレーヤーでのみ再生することができます。
- 本機の登録コードが承認されていないDivX VOD ファイルを再生すると「Authorization Error」と表示され再生することができません。
- DivX VODファイルには視聴回数が設定されているものがあります。そのようなDivX VOD ファイルを本機で再生すると残りの視聴回数がOSD画面に表示されます。残りの視聴回数が 0 のファイルを本機が読み込むと「Rental Expired」と表示され再生することができません。また、視聴回数の設定されていないDivX VOD ファイルについては、OSD画面には残りの視聴回数は表示されず、何度でも再生することができます。

スピーカー

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
音声出力モード 音声出力方法を選択します。	**●2チャンネル：** テレビなどのステレオ音声入力端子と本機の音声出力(2ch)端子を接続したとき。 ○**5.1 チャンネル：** AV アンプの 5.1 チャンネルアナログ音声入力端子などと本機の音声出力(5.1ch)端子を接続したとき。

- **[2 チャンネル]** を選択しているときは、ドルビーデジタル、DTS、またはMPEGのマルチチャンネル音声は 2 チャンネル音声にダウンミックスして出力されます。
- DVDオーディオでは、**[5.1チャンネル]** を選択しているとデジタル音声が出力されません。
- DVDオーディオにはダウンミックスを禁止しているディスクがあります。そのときは、**[2チャンネル]** を選択していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。
- **[2 チャンネル]** を選択しているときは、DTS マルチチャンネルのダウンミックス方法が選択できます。
- HDMI 接続時は、接続している相手機器と再生ディスクによって、アナログのマルチチャンネル音声が出力されないことがあります。アナログのマルチチャンネル音声を楽しみたい場合は、**[HDMI 出力]** を **[Off]** に設定してください(**P.37**)。

Q&A

Q1: デジタル音声が出力できない。

→ **[デジタル出力]** の設定で **[オン]** を選択してください(**P.35**)。DVD オーディオにはデジタル音声出力できないディスクがあります。また、SACD ではデジタル音声を出力できません。アナログ音声出力端子(5.1ch、または 2ch)の接続をしてください。

Q2: マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。

→ DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません(ドルビーデジタル、または DTS 音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、アナログ音声出力端子(5.1ch)の接続をしてください。

Q3: 192/176.4kHz 音声がデジタル出力できない。

→ DVD オーディオの 192/176.4kHz 音声はデジタル出力できません。96/88.2kHz、または 48/44.1kHz に変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。

■ 音声出力について

音声の種類		出力モード	音声出力(5.1CH)				デジタル出力	
			フロント左/右	センター	サラウンド左/右	サブウーファー	リニアPCM 変換する	リニアPCM 変換しない
DVD	ドルビーデジタル	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	ドルビーデジタル
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	ドルビーデジタル
	ドルビーデジタルカラオケ	5.1CH	左/右	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル
		2CH	左/右	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル
	リニアPCM (DVDビデオ)	5.1CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
		2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
	DVDオーディオ	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	×	×
		2CH	2CHダウンミックス *1	×	×	×	2CHダウンミックス *1	2CHダウンミックス *1
	MPEG	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	左/右	MPEG
		2CH	左/右	×	×	×	左/右	MPEG
	DTS	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	DTS
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	DTS
	DVD-RW (VR)	5.1/2CH	左/右 *3	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル MPEG リニアPCM
SACD		5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	×	×
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	×	×
CD		5.1/2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
ビデオCD		5.1/2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
DTS CD		5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	DTS
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	DTS

*1 DVDオーディオでは、ダウンミックスを禁止しているディスクがあります。このときは、**[音声出力モード]**(**P.46**)を**[2チャンネル]**に設定していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。

*2 超低域成分

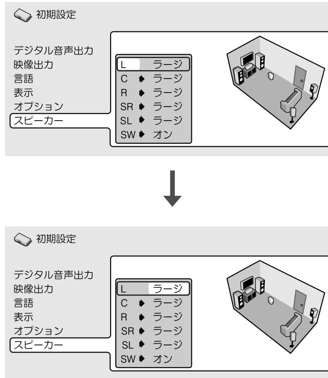
*3 出力モードが5.1chのときは、モノラル素材はセンター出力のみとなります。

- 表の　の部分は音声が出力されません。
- ディスクに一部のチャンネルが記録されていないときは、そのチャンネルから音声は出力されません。

設定項目	設定内容

スピーカー設置

各スピーカーのサイズを設定します。



➡ **スピーカーのサイズを設定するには**

① **[スピーカー設置]を選んで決定ボタンを押す**

② **⬆⬇ ボタンでスピーカーを選び、➡ ボタンでカーソルを右に移動する**

③ **⬆⬇ ボタンで大きさ、または接続の有無を選択する**

●**ラージ :** 大きいスピーカーに接続しているとき(目安としてコーンサイズ 12cm 以上)。
○**スモール :** 小さいスピーカーに接続しているとき(目安としてコーンサイズ12cm未満)。
○**オフ :** 接続していないとき。
○**オン :** サブウーファー(**SW**)を接続しているとき(**SW** では**[オン]**/**[オフ]**を設定します)。

④ **手順**②～③**を繰り返して、各スピーカーの設定をする**

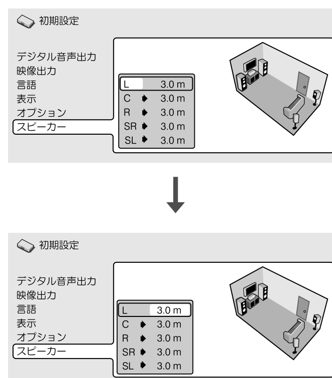
⑤ **決定ボタンを押す**
[スピーカー設置]の画面が消えます。

- **SW**(サブウーファー)を**[オン]**に設定しているときは、LFE(超低音の効果音)がサブウーファーから出力します。
- **L**(フロント左)/**R**(フロント右)スピーカーを**[スモール]**に設定すると、**SR**(サラウンド右)/**SL**(サラウンド左)と**C**(センター)スピーカーの大きさは自動的に**[スモール]**に設定されます。また、**SW**(サブウーファー)は**[オン]**に設定されます。

設定項目	設定内容

スピーカー距離補正

リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。



➡ スピーカーまでの距離を設定するには

① **[スピーカー距離補正]を選んで決定ボタンを押す**

② **⬆⬇ ボタンでスピーカーを選び、➡ ボタンでカーソルを右に移動する**

③ **⬆⬇ ボタンで距離を設定する**

設定できる範囲は以下のとおりです。
L：0.3m〜9m
R：0.3m〜9m
C：L/Rの距離から－2.1m〜0m
SL：L/Rの距離から－6.0m〜0m
SR：L/Rの距離から－6.0m〜0m

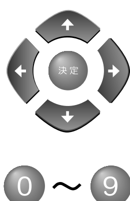
④ **手順②〜③を繰り返して、各スピーカーの距離を設定する**

⑤ **決定ボタンを押す**
[スピーカー距離補正]の画面が消えます。

- 5.1チャンネル再生では、スピーカーの距離の設定はすべてのスピーカーは同一サイズ、リスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイム(遅延時間)を設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。
- **SW**(サブウーファー)の距離を調整することはできません。
- DVDビデオのMPEG音声、または SACD の再生中は、**[C]**、**[SL]**、**[SR]**の距離補正の上限が－0.9 mになります。

■ 言語の設定で[その他の言語]を選んだとき

言語コード表(**P.50**)にある136言語の中から選ぶことができます。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。



0 〜 9

1 **[その他の言語]を選択して、決定ボタンを押す**

2 **⬅ ➡ ボタンを使って[言語表]または[コード]を選択する**
言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(**P.50**)をご覧ください。

3 **⬆ ⬇ ボタンまたは数字ボタンを使って言語コードを入力し、決定ボタンを押す**

言語 / 国 / 地域コード表

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国 / 地域コード表

国 / 地域 , **入力コード , 国 / 地域コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。商品のお取り扱いについてのご不明な点は、お買い求めの販売店様、または裏表紙に記載されているカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。また本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプ 、またはスピーカーなどもあわせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の ⏻**STANDBY/ON ボタン**、またはリモコンの⏻**電源ボタン**を押して、表示窓の**[-OFF-]**表示が消えてから抜いてください。特に他機器の AC アウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをおすすめします。	
DTS 音声が出力されない。	● 本機と DTS 音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは**[DTS出力]**を**[DTS＞PCM]**に設定してください。ノイズが発生することがあります。 ● DTS音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときはアンプの設定を確認してください。また、デジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	**36** **32**
音が歪んでしまう。 スピーカーから音が出ない。	● 音声ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか？ ● 接続している音声ケーブルが断線していませんか？ ● 音声ケーブルのプラグや本機の音声出力端子、または接続したテレビや AV アンプなどの音声入力端子が汚れていたら、汚れを拭き取ってください。 ● デジタル接続しているときは**[デジタル出力]**を**[オン]**に設定してください。 ● **[デジタル音声出力]**の設定により、音が出ないことがあります。 ● ディスクが汚れていませんか？ ● 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？ ● 接続したテレビや AV アンプなどの音量が最小になっていませんか？AVアンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。 ● アンプの PHONO 端子には接続しないでください。	**8, 30-32** **35** **35-36** **13, 16, 17**

映像が映らない。	● プログレッシブ入力に対応していないテレビとコンポーネント映像/D映像接続(**P.33**)しているとき、**[プログレッシブ]**を選択していると映像が正常に出力されません。 ● 映像ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか? ● 接続している映像ケーブルが断線していませんか？ ● AVアンプなどに映像出力端子を接続したときは、AVアンプの入力を接続している機器に設定してください(たとえばDVDなど)。	**40** **8, 30-31, 33**
画面が縦または横に伸びている。	● 接続したテレビに合わせて**[テレビ画面]**の設定をしてください。 ● S2映像出力に対応していないテレビにS映像ケーブルで接続すると、正常な映像が表示されない場合があります。その場合は、S映像ケーブル以外で接続してください。	**39**
DVDとCDで音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
DVD再生中に映像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、テレビによっては映像の一部に横しまが入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	**8**
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
DVDオーディオを再生すると途中で停止してしまう。	違法に複製されたディスクの可能性があります。	
スピーカーからマルチチャンネル音声が出力されない。	● **[音声出力モード]**の設定で**[5.1チャンネル]**を選択してください。 ● **[スピーカー設置]**の設定を行ってください。 ● ディスクのメニュー、またはリモコンの**音声ボタン**でディスクの音声をマルチチャンネルに切り換えてください。	**46** **48**
デジタル音声が出力できない。	● **[デジタル出力]**の設定で**[オン]**を選択してください。 ● DVDオーディオにはデジタル音声を出力できないディスクがあります。 ● SACDではデジタル音声を出力できません。アナログ音声出力端子(5.1ch、または2ch)の接続をしてください。	**35**

マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。	DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません(ドルビーデジタル、またはDTS音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、アナログ音声出力端子(5.1ch)の接続をしてください。	**31**
192/176.4kHz音声がデジタル出力できない。	DVDオーディオの192/176.4kHz音声はデジタル出力できません。96/88.2kHz、または48/44.1kHzに変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。	**36**
96/88.2kHz音声でデジタル出力できない。	● **[リニアPCM出力]**の設定で**[ダウンサンプル オン]**が選択されていないか確認してください。 ● 著作権保護がされているディスクでは96/88.2kHz音声のデジタル出力が禁止されています。	**36**
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	本体の**⏻STANDBY/ONボタン**を約10秒間押すと、強制的に電源が切れます。再度電源を入れて、ご使用ください。	
勝手に電源が切れる。	ディスクを再生していないときに約30分間、本体またはリモコンの操作をしないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります(オートパワーオフ機能)。再度電源を入れてください。	

■ HDMI関係

HDMIに接続したが、本体前面のHDMIインジケーターが赤く点灯しない。	● 本機はHDMI機器との接続を目的として設計されています。DVI機器との接続では正常に映像が出ない可能性があります。 ● 接続したHDMIの入力切り換えを本機に合わせてください。	
接続したHDMIから映像が映らない。	● DVI機器と接続していませんか？ DVI機器との接続では正常に映像が出ない可能性があります。 ● お手持ちの受像機が対応していない画素に切り換えていませんか？**[HDMI画素数]**を合わせてください。どうしても画像が出力されない場合は、本機がスタンバイ状態の時に、**⏮ボタン**を押しながら、**⏻STANDBY/ON**を押してください。画素数の設定が**[720 × 480P]**に戻ります。	**41**
HDMIカラーを切り換えたときに、色が正しく映らない。	● モニターの入力設定を切り換えてください。 ● **[HDMI カラー]**を変更前に戻してください。	**41**
接続したHDMIから音声が出ない。	● SACDは、HDMI端子から音声は出力されません。 ● 接続機器がDVDオーディオに対応していない場合、CPPM入りのDVDオーディオの音声はHDMI出力しません。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

再生できるディスクについて

DVD の再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット、またはVRモードで記録されたDVD-R/RW/R DLディスクを再生することができます。ただしファイナライズしていないDVDビデオフォーマットのDVD-R/RWディスクを再生することはできません。
- 本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD+R/RW/R DLディスクを再生することができます。ただしファイナライズしていないディスクは再生することはできません。また、録画時の編集内容どおりには再生されないことがあります。
- 本機はMP3/WMA/JPEGが記録されたDVD-R/RWを再生することはできません。
- UDF(ユニバーサルディスクフォーマット)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- DVDレコーダーで編集(シーン消去など)をした箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬映像が止まります。これは故障ではありません。

※DVDビデオフォーマット記録、およびVRモードでの記録については**P.61**をご覧ください。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。VRモードで記録できるディスクはDVD-R/RWだけです。また、VRモードで記録されたDVD-RWを本機にセットすると「DVD VR」と表示されます。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、WMAやMP3の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただしディスクよっては、「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
- DVD-Audioは再生できません。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

WMA の再生について

- 外装箱に印刷された、Windows Media® のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。
  WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。



  Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数32 kHz、44.1 kHz、または48 kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding)には対応していません。

- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(**P.61**)には対応していません。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、または 48 kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは[**このフォーマットは再生できません**]と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(**P.61**)には対応していません。
- 音質的には、記録ビットレート128 kbps以上をお勧めします。

JPEG の再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、フジカラー CD、コダックピクチャーCD、またはCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJEPGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が 3072 X 2048 ピクセル以下のベースライン JPEG ファイル、および Exif 2.2 *(**P.61**)に準拠したJPEGファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
- プログレッシブJPEGには対応していません。
- ファイルサイズが大きいファイルは、画像の再生に時間がかかることがあります。

* *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif)Ver2.2、JEIDA-49-1998 (社)電子情報技術産業協会 JEITA*

DivX の再生について




- 本機は DivX® Ultra Certified 製品です。
- DivX は、DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルには、圧縮された画像データが含まれます。また、DivX ファイルはメニューや複数の字幕、音声の切り換えといった高度な再生機能を付けることも可能です。
- 本機ではCD-R/RW/ROMディスクに記録された DivX ファイルを再生することができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本取扱説明書では、それぞれの DivX ファイルを DVD に合わせて「タイトル」と呼びます。DivX ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、CD-R/RWに記録する際はタイトル名のつけ方にご注意ください。
- DivX® メディアファイルと DivX Media Format の高度な再生機能が付いている DivX® ビデオ(DivX® 6 も含むすべてのバージョンに対応)を本機で再生することができます。
- 「.avi」または「.divx」という拡張子がついたDivX ファイルのみ再生することができます。また本機では、「.avi」という拡張子はMPEG4として認識しますが、MPEG4の中でもDivXファイルでない場合があります。その場合は本機では再生できない可能性がありますのでご注意ください。

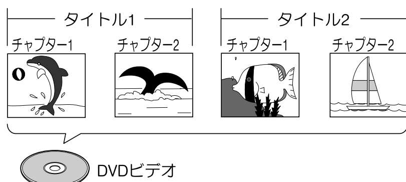
- DivX、DivX Ultra Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

☑ 注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RW ディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。

タイトルとチャプターについて

- DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
- DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。



トラックについて

- CD やビデオ CD では、ディスクをトラックという単位で分けています(一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。

DVD オーディオのグループとトラックについて

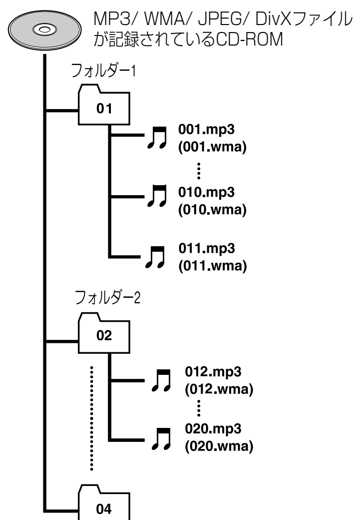
- ディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。ＤＶＤ ビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

ビデオCD/SACD/CDのトラックについて

- ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。

WMA/MP3/JPEG/DivXについて

- フォルダー名は、1 枚のディスクで最大 299 フォルダーまで認識することができます。トラック名、ファイル名は、アルファベット順に 1 フォルダー内に合計 648 まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラック、ファイルを認識・再生できない場合があります。
- WMA/MP3 のフォルダー / トラックの名前や、JPEG/DivX のフォルダー / ファイルの名前を表示することができます。ただし、本機は半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー / トラック / ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。



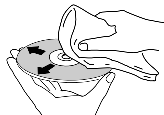
ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

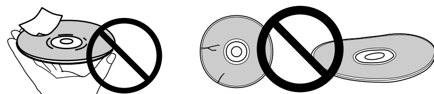
ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。



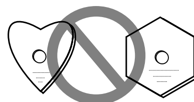
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。

- 損傷のあるディスク(ひびや反りのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って、不具合が発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。



特殊な形のディスクについて

- 本機では、丸いディスクのみ再生できます。特殊な形のディスク(ハート型や六角形など)は故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



レンズのクリーニングについて

- レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『**保証とアフターサービス**』(**P.64**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

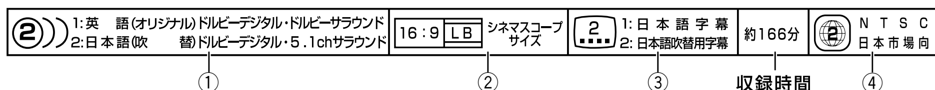
ディスクの結露について

- 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

DVDのディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVDビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVDビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例



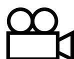
① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切り換えは**P.26, 42**をご覧ください)。
上記の場合、テレビにつないでいるときには、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は5.1chサラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(**P.39**)。

③ ディスクに記録されている**字幕の数**と**言語**などの種類を示しています(字幕の切り換えは**P.26, 42**をご覧ください)。
DVDビデオでは最大32種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機(日本向け)の再生可能地域番号は2番で、ディスクに記載された地域番号が2番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク



舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大9つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(**P.24**)。

☑ メモ

- DVDビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニアPCM」の3つが現在主流となっています。

ドルビー デジタルとは. .* DOLBY DIGITAL

DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1chサラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことをいいます。本機をドルビーデジタル対応のAVアンプなどとデジタル接続してこのソフトを再生すると、臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみいただくことができます。

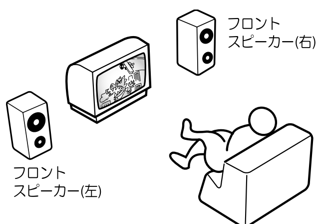
*DTS**とは. .*

DTSとはDigital Theater Systems, Inc.社の5.1chデジタル・サラウンド録音再生方式のことです。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。本機をDTS対応のAVアンプなどとデジタル接続すると、DTSデジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

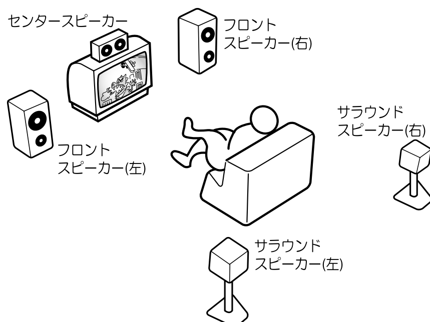
リニアPCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録したDVDビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHzなどの表示があることもあります。

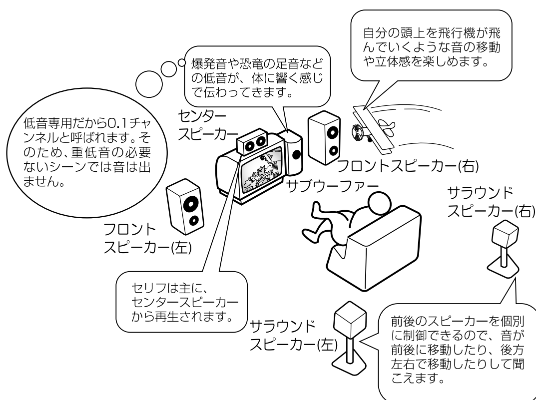
- **ステレオ再生とは. .**
  左右2つのスピーカーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD(ステレオ2chで録音されています)は、5本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーからしか再生されません。



- **ドルビーサラウンド再生とは. .**
  ソフトのパッケージにドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)と表記されているソフトを、5本のスピーカーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音(モノラル)で再生されます。



- **ドルビーデジタル5.1chまたはDTSサラウンド再生とは. .**
  ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。



** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。*

*** "DTS" および "DTS Digital Out" は米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国 Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。*

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは４：３ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは 16：９の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース(飛び越し走査)
映像の１画面を半分ずつ２回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて１画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525i など)表記します。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

コンポーネント映像出力
Y、CB/PB、CR/PRの３つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、より美しい映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含む DVD ビデオの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル(dB)単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高／標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の１画面を２回に分けずに１画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像を楽しめます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525p など)表記します。

ボーナスグループ
DVD オーディオでは、４桁の番号(キーナンバー)を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っていますので、視聴者側で視点(カメラ)を選ぶことはできません。DVD ビデオには、同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を自由に選ぶことができます。DVD ビデオではアングルを最大 9 つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVD ビデオの中には、1 枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDビデオでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDビデオでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-R やCD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

D 端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y、C_B/P_B、C_R/P_R)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を 1 つのコネクタで接続する端子です。

DivX
DivXとはDivX, Inc.のDivX®ビデオコーディング方式によるデジタルビデオ圧縮技術です。「.avi」または「.divx」という拡張子のついたファイルをDivXファイルとよびます。

DVD オーディオ / ビデオの静止画
DVD には、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVD オーディオの静止画には 2 種類あります。
スライドショーは、ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。なお、DVD ビデオの静止画はスライドショーのみです。

DVD ビデオフォーマット記録
、またはマークの付いている市販のDVD ビデオディスクと同じ方式(フォーマット)で DVD-R/DVD-RW ディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアのDVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、高画質で録画するモードと、長時間録画するモードがあります。

Exif
Exchangeable Image File Formatの略でエグジフと読みます。富士写真フイルムが開発したデジタルスチルカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA 規格)。撮影日などの、撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

HDMI
HDMIとは、High-Definition Multimedia Interfaceの略です。PC 用ディスプレイなどで使用されているDVI(Digital Video Interface)を拡張した、次世代テレビ向けのデジタルインターフェイス規格で、非圧縮のデジタル映像と

デジタルオーディオ(ドルビーデジタル、DTS、MPEGといったオーディオストリームやリニアPCM)の伝送が1つのコネクタで行えます。このため映像と音声を別々のケーブルで接続する必要がなく、小型のコネクタケーブル1本での接続が可能になりました。また著作権保護技術であるデジタル画像信号の暗号化方式であるHDCPにも対応しています。

JPEG

JPEGとは、ITU-TS(国際電気通信連合: 旧CCITT)とISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDビデオの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDビデオの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

SACD

CDの規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACDには1層ディスク、2層ディスクとハイブリッドディスクの3種類があります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ちあわせています。

VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)記録

映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み=パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアのDVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、標準的な画質で録画するモードと、画質および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

WMA

「Windows Media® Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

3/2.1CH

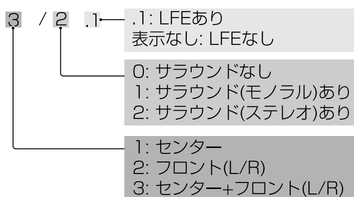
3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表しています。

例)5.1CHの場合

- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1チャンネル[1CH × 0.1*2 = 0.1CH]

*1 重低音強調効果の意
*2 音声全体に対して低音が占める割合

GUI画面には下記のように表示されます。



使用上のご注意

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの、安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**(またはリモコン の⏻**電源ボタン**)を押し、表示窓の[-OFF-]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り､汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると､内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて１～２時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
  夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

初期化する

- 設定した内容をすべて出荷時の状態に戻すことができます(初期化)。初期化すると、記憶していたすべての設定が同時に消去されます。初期化する際は十分にご注意ください。

1 本機を待機（スタンバイ）状態にする

電源が入っているときは、⏻**STANDBY/ON ボタン**を押します。

2 ■ ボタンを押しながら、⏻STANDBY/ON ボタンを押す

設定した内容がすべて出荷時の状態に戻ります。

仕様

形式 .... DVD プレーヤー
電源 .... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 8 W
0.6W（待機時）
本体質量 .... 1.8 kg
外形寸法（幅）×（高さ）×（奥行）
420 × 49.5 × 215.5mm（突起部含む）
許容動作温度 .... ＋5℃～＋35℃
許容動作湿度
.... 5%～85%（結露のないこと）

S2 映像出力
Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル .... 286 mVp-p（75 Ω）
出力端子 .... S 端子

映像出力
出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... RCA 端子

コンポーネント映像出力
（Y、CB/PB、CR/PR）
Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
CB/PB、CR/PR 出力レベル
.... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... RCA 端子

D1/D2 映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）
Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
CB/PB、CR/PR 出力レベル
.... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... D 端子

HDMI出力
出力端子 19ピン

音声出力(2ch)
音声出力レベル .... 200 mVrms
（1kHz、－ 20dB）
出力端子 .... RCA 端子ステレオ 2 系統
周波数特性
.... 4 Hz～44 kHz(DVD、96 kHz)
S/N 比 .... 115 dB
ダイナミックレンジ .... 100 dB
全高調波歪率 .... 0.0025 %
ワウ・フラッター .... 測定限界以下
（± 0.001%W.PEAK）（ JEITA）

音声出力(マルチチャンネル：フロントL/R、サラウンド L/R、センター、サブウーファー)
音声出力レベル
.... 200 mVrms（1kHz、－ 20dB）
出力端子 .... RCA 端子

デジタル音声出力
光デジタル出力 .... 光デジタル端子
同軸デジタル出力 .... RCA 端子

付属品
オーディオ・ビデオコード............................ 1
リモコン... 1
単 3 形乾電池（R6P）................................... 2
取扱説明書、保証書 .... 各 1

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談
裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にご相談ください。

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき
裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にご連絡ください。
本品は持ち込み修理対応製品です。
故障して修理をお受けになる場合は、パイオニアサービス窓口またはお買い求めの販売店様に製品と保証書を持参してお申し付けください。
尚、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代は、有料とさせて頂きます。

連絡していただきたい内容
- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名　DVD プレーヤー
- 型番　DV-696AV
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作（使用したディスクも）で、どうなるといった詳細」

保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機では、画面表示に NEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。Font Avenue は NEC の登録商標です。

索引

修理のご相談／修理についてのお問い合わせ窓口

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付センターでお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービスステーション）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆札幌サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆仙台サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービスステーション	FAX　019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
墨田サービスステーション	FAX　03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原4-27-9　中島ICハイツ1F
城北サービスステーション	FAX　03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸4-11-4
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

新潟サービスステーション	FAX　025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆千葉サービスセンター	FAX　043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆埼玉サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
☆神奈川サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX　045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
厚木サービス認定店	FAX　046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田339-1　金田コーポフロンテア201
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX　04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX　0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆名古屋サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービスステーション	FAX　054-237-5691	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX　055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ5号
金沢サービスステーション	FAX　076-269-4758	〒920-0362	金沢市古府1丁目178
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆大阪サービスセンター	FAX　06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪北サービス認定店	FAX　06-6453-5666	〒531-0076	大阪市北区大淀中3-9-4
大阪南サービス認定店	FAX　0722-75-2625	〒593-8322	堺市津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX　078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX　0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土4-2
和歌山サービス認定店	FAX　0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX　075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX　0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX　0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆広島サービスセンター	FAX　082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX　086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX　0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　(有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX　0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX　0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1
徳山サービス認定店	FAX　0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX　087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX　088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX　088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX　089-951-6270	〒791-8067	松山市古三津5-10-35　商船ビル1F

●九州地区			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く） ☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）
☆福岡サービスセンター	FAX　092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX　093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX　092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX　095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX　096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX　097-549-2420	〒870-0851	大分市大石町5丁目1-1
鹿児島サービスステーション	FAX　099-224-7692	〒892-0841	鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル2F
宮崎サービス認定店	FAX　0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄県			受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
沖縄サービスステーション	TEL　098-879-1910 FAX　098-879-1352	〒901-2122	浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター3F

平成18年 4月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。



長年ご使用のオーディオ製品の点検をお勧めいたします。こんな症状はありませんか?
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店
または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品	■フリーフォン 0070－800－8181－22	■一般電話　03－5496－2986
■ファックス	03－3490－5718	
■インターネットホームページ	http://www.pioneer.co.jp/support/index.html ※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など	

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話	フリーダイヤル 0120－5－81028（ゴーハパイオニア）	■一般電話　03－5496－2023
■ファックス	フリーダイヤル 0120－5－81029	
■インターネットホームページ	http://www.pioneer.co.jp/support/repair.html ※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります	

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話	098－879－1910
■ファックス	098－879－1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話	フリーダイヤル 0120－5－81095	■一般電話　0538－43－1161
■ファックス	フリーダイヤル 0120－5－81096	

平成18年4月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.017


J2J00201A SH 06/05 U

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号